

佐賀市佐野常民記念館企画展

儒家三代

～古賀精里・穀堂・侗庵・謹一郎～



「古賀穀堂肖像」
(写真複製、原資料:佐賀県立博物館・美術館所蔵)

「古賀精里肖像」
(写真複製、原資料:佐賀県立博物館・美術館所蔵)

「古賀侗庵肖像」
(写真複製、原資料:佐賀県立博物館・美術館所蔵)

JYUUKA SANDAI

会期

平成 26 年

2/22^土 ～ 3/23^日

9:00～17:00 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

会場

佐賀市佐野常民記念館

佐賀市川副町大字早津江津 446-1

TEL:0952-34-9455 FAX:0952-34-9465

観覧料

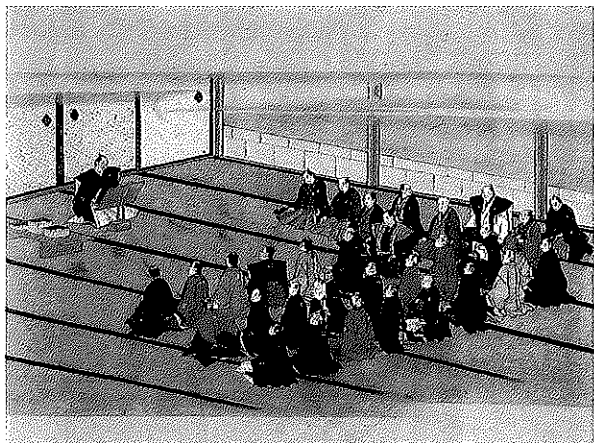
大人 300 円 こども(小・中・高校生) 100 円 (常設展示観覧を含む)

主催/佐野常民記念館
共催/佐野常民顕彰会

後援/佐賀県、日本赤十字社佐賀県支部、NHK佐賀放送局、STSサガテレビ、
ぶんぶんテレビ、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、えびすFM、朝日新聞社、
読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社(順不同)

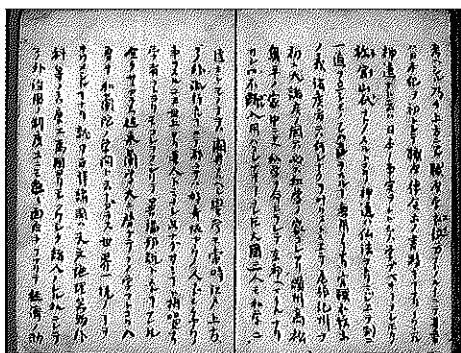
儒家三代

～古賀精里・穀堂・侗庵・謹一郎～



「聖堂講釈図」

(写真複製、原資料：東京大学史料編纂所所蔵)



「学制管見」

(公益財団法人鍋島報效会所蔵
寄託先：佐賀県立図書館鍋 060-3)



「鍋島治茂書幅」
(公益財団法人鍋島報效会所蔵)

古賀精里は、一説には現在の佐賀市川副町西古賀の出身ともいわれ、儒学を学び佐賀藩八代藩主鍋島治茂の側近として藩校弘道館こうどうかんの設立に関わり、また、幕府に招かれて昌平坂学問所しょうへいざかがくもんじょの教授としても活躍し、柴野しばのりつざん びとうにしゅう 栗山、尾藤二洲と並び「寛政の三博士」と称されています。

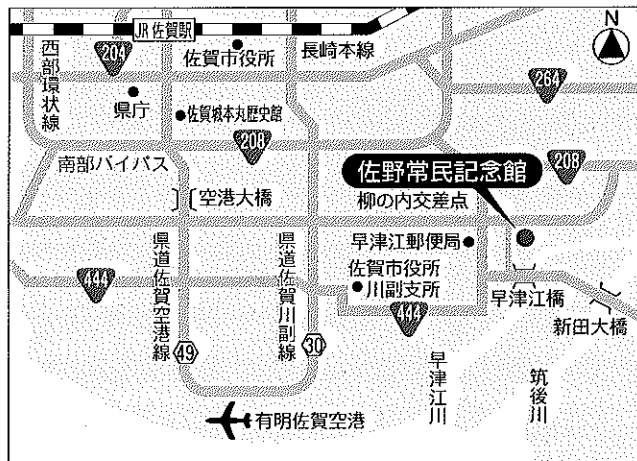
精里の長男である穀堂も親子二代にわたって藩校弘道館教授、昌平坂学問所に勤め、特に佐賀藩主鍋島直正の師として藩政改革の指針を示しました。

若き頃の佐野常民がその門をたたいた、穀堂の弟侗庵も、昌平坂学問所で教授を勤めており、ロシアに対する海防の必要性を説いています。

侗庵の子謹一郎は儒家として活動する傍ら、1853(嘉永6)年ロシア使節プチャーチンが長崎に来航した際、川路聖謨と共に交渉にあたり、日露和親条約締結など幕府の外交面や勝麟太郎とともに洋学所の設置に奔走するなど手腕を発揮します。

企画展では、現在残る書幅を中心に、古賀精里をはじめ、穀堂、侗庵、謹一郎という佐賀が生んだ儒家古賀氏三代の系譜を取り上げ、佐野常民や佐賀藩をはじめ、後世の日本に対して残した功績を御紹介します。

※無断で写真の複製を禁止します。



〔問い合わせ〕



佐賀市佐野常民記念館

〒840-2202 佐賀市川副町大字早津江津 446-1

TEL:0952-34-9455 FAX:0952-34-9465

http://www.saganet.ne.jp/tunetami/

E-mail tunetami@star.saganet.ne.jp